

# 日本英語学会第30回記念大会

日時：2012年11月10日(土)・11日(日)

場所：慶應義塾大学 三田キャンパス(Keio University, Mita Campus)

(〒108-8345 東京都港区三田2-15-45)

(E): Presentation in English

第1日 11月10日(土)  
午前

<b>ワークショップ</b>	<b>9時30分より11時45分まで</b>	
<b>第1室</b>	<b>On Merge-Based Generative Procedures: Maximizing Minimum Machinery</b> (西校舎2階526教室)	
責任者・司会者	北原久嗣 (慶應義塾大学)	
発表者	大石正幸 (東北学院大学), 刺田昌信 (上智大学大学院), 北原久嗣 (慶應義塾大学)	
<b>第2室</b>	<b>ミニマリスト・プログラムにおける削除現象</b> (西校舎2階527教室)	
責任者・司会者	後藤 亘 (三重大学)	
発表者	中村太一 (東北大学), 瀧田健介 (三重大学), 木村博子 (東北大学大学院専門研究員), 後藤 亘 (三重大学)	
<b>第3室</b>	<b>Application of Conceptual Metaphor Theory to Real World Issues (E)</b> (西校舎2階528教室)	
責任者・司会者	Kazuko Shinohara (Tokyo University of Agriculture and Technology)	
発表者	Joseph Grady (Cultural Logic, LLC), KJ Nabeshima (Kansai University), Yoshihiro Matsunaka (Tokyo Polytechnic University) and Kazuko Shinohara (Tokyo University of Agriculture and Technology)	
<b>第4室</b>	<b>エスノグラフィー・エスノメソドロジーと日・英語コミュニケーション</b> (西校舎3階532教室)	
責任者	砂川千穂 (The University of Texas at Austin研究員)	
司会者	安井永子 (名古屋大学)・砂川千穂 (The University of Texas at Austin研究員)	
発表者	武黒麻紀子 (早稲田大学), 古川敏明 (大阪大学), 安井永子 (名古屋大学), 砂川千穂 (The University of Texas at Austin研究員)	

<b>スチューデント・ワークショップ</b>	<b>9時30分より11時45分まで</b>	
<b>第5室</b>	<b>Functionとしての文法格：新しい「格」の理論に向けて</b> (南校舎4階446教室)	
責任者	一田小友希 (関西学院大学大学院)	
司会者	浦 啓之 (関西学院大学)	
発表者	平崎永里子 (関西学院大学大学院), 一田小友希 (関西学院大学大学院), 竹内 肇 (関西学院大学大学院)	
<b>第6室</b>	<b>評価の意味から見る談話・談話から見る評価の意味</b> (南校舎4階447教室)	
責任者	浜田啓志 (慶應義塾大学大学院)	
司会者	多々良 直弘 (桜美林大学)	
発表者	浜田啓志 (慶應義塾大学大学院), 野中大輔 (慶應義塾大学大学院), 上野良子 (慶應義塾大学大学院), 梅津直子 (慶應義塾大学大学院)	

<b>受付</b>	<b>11時30分より</b>	<b>(西校舎2階ロビー)</b>
<b>総会</b>	<b>正午より12時50分まで</b>	<b>(西校舎3階531教室)</b>
◇開会の辞	会長	稲田 俊明 (長崎大学)
◇開催校代表挨拶	慶應義塾大学常任理事	長谷山 彰
◇委員会・事務局報告	委員長	大堀 壽夫 (東京大学)
大会運営委員会報告	委員長	伊藤たかね (東京大学)
編集委員会報告	委員長	大室 剛志 (名古屋大学)
広報委員会報告	委員長	西岡 宣明 (九州大学)
事務局報告	事務局長	西岡 宣明 (九州大学)
◇各賞選考委員会報告	学会賞委員会委員長	廣瀬 幸生 (筑波大学)
学会賞(新人賞)選考委員会報告	委員長	大庭 幸男 (大阪大学)
特別賞選考委員会報告	委員長	稲田 俊明 (長崎大学)
◇授賞式	会長	稲田 俊明 (長崎大学)

午後

<b>研究発表</b>	<b>13時より14時55分まで</b>	
<b>第一室</b>		(西校舎2階526教室)
司会	上田由紀子 (秋田大学)	
	阿部 潤 (東北学院大学(非常勤)) [招聘]	“Reconstruction into Parasitic Gaps”
	佐藤元樹 (東北大学大学院)	“A Unified Analysis of Expletives and Do-Support”
	荒野章彦 (東北大学大学院)	“Two Types of Main Verb Inversion in English” (西校舎2階527教室)
<b>第二室</b>		
司会	丸田忠雄 (東京理科大学)	
	五十嵐啓太 (筑波大学大学院)	「It is that構文の談話機能：推論・指定・対比の観点から」
	眞田敬介 (札幌学院大学)	「英語法助動詞における主観性と遂行性の一考察：Verstraete(2001)の分析の批判的検討を通して」
	小栗哲哉 (麗澤大学(非常勤))	「身体行為構文の受動文と談話機能」 (西校舎2階528教室)
<b>第三室</b>		
司会	藤田耕司 (京都大学)	
	中村太一 (東北大学)	「主要部移動と句構造構築」
	神谷 昇 (千葉大学(非常勤))	「日本語の「ている」構文の統語構造」
	Hideki Maki (Gifu University) and Dónall P. Ó Baoill (Queen's University Belfast, Professor Emeritus)	“Embedded Topicalization in Irish” (E) (西校舎3階532教室)
<b>第四室</b>		
司会	中西公子 (お茶の水女子大学)	
	藤森千博 (弘前大学(非常勤))	「素性継承に基づく英語結果構文の分析」
	外池滋生 (青山学院大学)	「Differentの内部解釈のAgree分析と右方節点繰り上げ構造」
	丁 文文 (筑波大学大学院)	「先行詞包含型削除文の構造および解釈について」 (西校舎3階533教室)
<b>第五室</b>		
司会	土橋善仁 (新潟大学)	
	辰巳雄太 (大阪大学大学院)	“Move without Agree”
	北田伸一 (東北大学大学院専門研究員)	“Feature Inheritance and Four Types of Argument Structure”
	石野 尚 (関西学院大学研究員)	“Distributive Binding and Two Types of Binding Theory in Syntax”
	浦 啓之 (関西学院大学)	

<b>公開特別シンポジウム</b>	<b>15時15分より18時まで</b>	
<b>A室</b>	<b>Language, Cognition, and Human Nature: Prospects of Linguistics (E) (公開)</b> (西校舎3階531教室)	
司会	Yukio Otsu (Keio University)	
講師	Cedric Boeckx (ICREA/University of Barcelona)	“Not Chomskyan Enough”
講師	William Croft (University of New Mexico)	“Studying Language as a Complex Adaptive System”
講師	Lyle Jenkins (Biolinguistics Institute, Cambridge, MA)	“Emergence and Prospects of Biolinguistics as a Natural Science”
ディスカッサント	Akira Watanabe (University of Tokyo)	
ディスカッサント	Seizi Iwata (Osaka City University)	
ディスカッサント	Tetsuya Sano (Meiji Gakuin University)	

<b>懇親会</b>	<b>18時20分より19時50分まで</b>	
	南校舎4階「ザ・カフェテリア」	会費：4,000円 (学生3,000円)

<b>交通</b>	電車：JR山手線/JR京浜東北線 田町駅下車 徒歩8分 都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線 三田駅下車 徒歩7分 都営地下鉄大江戸線 赤羽橋駅下車 徒歩8分 *東京～田町：10分 渋谷～田町：15分
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<b>参加費</b>	2,000円 (会員, 非会員とも)
ただし, 公開シンポジウム (シンポジウムA室) のみの入場は無料。	
○大会期間中 (10日・11日) は車でのご来場はできません。	
○キャンパス (校舎内および通路) は禁煙です。	
○10日のみ, 昼食時に学内の食堂がご利用になれます。11日は, 昼食をご持参いただくか, 近辺のレストランやコンビニエンスストアのご利用をお勧めいたします。	
○書籍展示・販売会場：西校舎2階524教室	

第2日 11月11日(日)  
午前

<b>受付</b>	<b>9時より</b>	<b>(西校舎2階ロビー)</b>
<b>研究発表</b>	<b>9時30分より12時05分まで (第七室・九室は12時45分まで)</b>	
<b>第六室</b>		(西校舎2階526教室)
司会	菅原真理子 (同志社大学)	
	Eiji Yamada (Fukuoka University) [招聘]	“Main Stress Assignment in English Words” (E)
	川原功司 (藤女子大学)	“The Standards of Gradable Adjectives in Child Japanese”
司会	本多 啓 (神戸市外国語大学)	
	武内梓朗 (筑波大学大学院)	「経験のhave構文の認可条件」
	小寺正洋 (阪南大学)	「ドメイン・シフトと英語可算名詞の不可算転換について：ニオイ領域のネコ」 (西校舎2階527教室)
<b>第七室</b>		
司会	新沼史和 (盛岡大学)	
	大高 茜 (津田塾大学大学院)	「phi素性の“copy”について」
	西山國雄 (茨城大学) [招聘]	“Decomposing Demonstratives and Wh-Words”
司会	島 越郎 (東北大学)	
	浅田裕子 (上智大学国際言語情報研究所客員所員)	“Lethal Ambiguity in Equative Small Clauses”
	本多正敏 (神田外国語大学研究員)	「英語における制限的關係節と分裂節の統語構造と意味に関して」
	大久保龍寛 (筑波大学大学院)	「句要素を含む語から見た形態と統語の関係」 (西校舎2階528教室)
<b>第八室</b>		
司会	片岡邦好 (愛知大学)	
	早野 薫 (お茶の水女子大学)	「「自己」の領域：日英語における自己卑下発話の分析」
	砂川千穂 (The University of Texas at Austin研究員)	「アメリカ生まれのアイデンティティ構築：テクノロジーを介した日本人家族会話」
司会	村田和代 (龍谷大学)	
	安井永子 (名古屋大学)	「接続詞Butの相互行為上の機能について：中断された語りの再開を指標する場合」
	Reiko Hayashi (Konan Women's University) [招聘]	“The Third of the List: Occasioned Social Meanings of Three-Part-List Construction” (E) (西校舎3階532教室)
<b>第九室</b>		
司会	奥野忠徳 (弘前大学)	
	岩井真澄 (筑波大学大学院)	「消費を表すVon/off NPに生起する前置詞の意味論的考察」
	三上 傑 (筑波大学(非常勤))	「英語における前置詞句主語構文とAboutnessに基づく主語の定式化」
司会	大名 力 (名古屋大学)	
	大室剛志 (名古屋大学) [招聘]	「意味から形を見る：優先規則体系と文法における拡張のメカニズム」
	並木翔太郎 (筑波大学大学院)	「項構造基盤結果構文におけるin結果句の生起について」
	衛藤圭一 (京都外国語大学(非常勤))	「Be about toの用法と語用論的意味の類型化に関する一考察」 (西校舎3階533教室)
<b>第十室</b>		
司会	松本マスマ (大阪教育大学)	
	江崎早苗 (関西学院大学大学院)	“On the A/A-Bar Distinction in Tough-Movement and Its Parametric Syntax”
	中川直志 (中京大学)	「Tough構文の主節構造について」
司会	縄田裕幸 (鳥根大学)	
	下飯屋 翔 (九州大学大学院)	「Phase理論からみる動名詞構文」
	久米祐介 (名古屋大学研究員)	「Have/Take an N構文について」

<b>特別ワークショップ</b>	<b>9時30分より12時15分まで</b>	
<b>B室</b>	<b>Current and Future Issues in Biolinguistics (E)</b> (西校舎3階531教室)	
司会	Koji Fujita (Kyoto University)	
講師	Lyle Jenkins (Biolinguistics Institute, Cambridge, MA)	“Biolinguistics: Current State and Future Prospects”
講師	Heizo Nakajima (Gakushuin University)	“The Language Design Factors in Syntactic Construction Design”
講師	Masanobu Ueda (Hokkaido University)	“On the Nature of the Naturalistic Approach in Biolinguistics”
講師	Kazuo Okanoya (University of Tokyo)	“Limitations in the Artificial Grammar Learning (AGL) Paradigm and New Directions in Cognitive Biology of Language”

午後

<b>特別ワークショップ</b>	<b>13時30分より16時15分まで</b>	
<b>C室</b>	<b>Basic Operations of Syntax (E)</b> (西校舎3階531教室)	
司会	Naoki Fukui (Sophia University)	
講師	Cedric Boeckx (ICREA/University of Barcelona)	“On Merge: Biolinguistic Considerations”
講師	Hiroki Narita (Waseda Institute for Advanced Study)	“Towards No-Tampering Syntax”
講師	Masakazu Kuno (Waseda University)	“Merge and Search”
ディスカッサント	Takaomi Kato (Tokyo University of Science)	
ディスカッサント	Mihoko Zushi (Kanagawa University)	
<b>D室</b>	<b>Typology of Event Semantics and Argument Encoding (E)</b> (西校舎3階533教室)	
司会	Toshio Ohori (University of Tokyo)	
講師	William Croft (University of New Mexico)	“Directed Change, Manner and Result Verbs, and Resultatives”
講師	Kimi Akita (Osaka University)	“A Frame-Semantic Analysis of the (Limited) Flexibility of Mimetic Verbs”
講師	Hiroaki Koga (Keio University)	“How to Express Deictic Information in Encoding Self-/Non-Agentive and Agentive Motion in English and Japanese”

会 長	稲田俊明 (長崎大学)
大会運営委員	〔委員長〕大堀壽夫 (東京大学), 〔副委員長〕大名 力 (名古屋大学), 上田由紀子 (秋田大学), 奥野忠徳 (弘前大学), 片岡邦好 (愛知大学), 縄田裕幸 (鳥根大学), 島 越郎 (東北大学), 菅原真理子 (同志社大学), 中西公子 (お茶の水女子大学), 新沼史和 (盛岡大学), 藤田耕司 (京都大学), 土橋善仁 (新潟大学), 本多 啓 (神戸市外国語大学), 松本マスマ (大阪教育大学), 丸田忠雄 (東京理科大学), 村田和代 (龍谷大学)
開催校委員	〔代表〕井上逸兵, 小倉美知子, 北原久嗣, 杉岡洋子, 篠原俊吾, 鈴木直樹
30周年記念事業ワーキンググループ	〔代表〕米山三明 (成蹊大学), 大庭幸男 (大阪大学), 福地 肇 (東北大学), 大堀壽夫 (東京大学), 菊地 朗 (東北大学), 藤田耕司 (京都大学), 西岡宣明 (九州大学)
事務局	〔事務局長〕西岡宣明 (九州大学), 岡部玲子 (日本大学), 田中公介 (産業医科大学), 廣江 顕 (長崎大学), 松元浩一 (長崎大学)

\*学会誌 *English Linguistics* ならびに新人賞への応募締切日等につきましては, Newsletter「え〜ごがく」および学会ホームページ (<http://elsj.kaitakusha.co.jp/>) をご覧下さい。

## The English Linguistic Society of Japan